

お取り扱い商品（一例）

価格などはお問合せ下さい



平丸釜（征一作）



肩衝釜（征一作）



砂張クーラー（圭二郎作）



流水肩衝釜（圭二郎作）



ミニ鉄瓶（圭二郎作）



錫小物各種（圭二郎作）

ぐい呑み各種、ちろり（中央上）、
片口（右）

上記の他にも花入、蓋置、釜鑲、五徳等の茶道具もございます。
また、一圭の作品のお取り扱いやオリジナル製品のオーダー、
茶釜の修理なども承ります。お気軽にお問合せ下さいませ。

角谷家四代の系譜

〈角谷家初代〉 角谷巳之助（1869～1945）
Minosuke Kakutani

代々宮大工の家系であったが、近所の鋳物工場で
見た鉄瓶づくりに惹かれ鋳物の仕事を始める。

〈角谷家二代〉 角谷一圭（1904～1999）
Ikkei Kakutani



巳之助の三男。
幼少より父の仕事を手伝い、
茶の湯釜の研究に取り組む。
1978年に重要無形文化財
『茶の湯釜』保持者認定
(人間国宝)

〈角谷家三代〉 角谷征一（1939～）
Seiichi Kakutani



一圭の長男。
大阪市立工芸高等学校
金属科卒業後、父一圭
に師事
1991年 日本伝統工芸展
朝日新聞社賞受賞

2004年 伝統工芸日本金工展 文化庁長官賞受賞
他、入選入賞多数

2014年に大阪府指定無形文化財『茶の湯釜』保持者認定

○日本工芸会正会員
○大阪工芸協会名誉会長

〈角谷家四代〉 角谷圭二郎（1976～）
Keijiro Kakutani



征一の二男。
大学卒業後、20代は民間企業に勤務
2006年より父征一に師事
2012,15年 日本伝統工芸
近畿展入賞
2014,16,17年 伝統工芸日本
金工展入賞

○日本工芸会正会員
○大阪工芸協会理事

<ご案内> 人間国宝 角谷一圭記念 深江郷土資料館

●開館日：年末年始を除く毎日（お問合せください）

●開館時間：9:30～12:00/14:00～16:30

●入館料：無料

大阪市の東に位置する深江地区は、角谷一圭が生涯を過ごした地です。

深江郷土資料館は地域住民によって管理・運営されており、一圭をはじめ征一や圭二郎の茶釜と、現在近畿地方で活躍する金工作家の作品が展示されています。

また、お伊勢参りの頃から地域で伝承されてきた菅細工や儀式用の大型菅笠などの展示、並びに敷地内に菅田が再現されるなど見所が満載の資料館です。ぜひ一度お越しくださいませ。



所在地：〒537-0002
大阪府大阪市東成区深江南3丁目16-14
TEL: 06-6977-5555
地下鉄千日前線「新深江駅」下車徒歩15分
※表面の地図もご参照ください。